



TSUNAGI

つなぎ議会だより

2
February

つなぎ議会だより

2023.2

発行：熊本県津奈木町議会
編集：議会広報編集特別委員会

〒869-5692 熊本県章北部津奈木町小津奈木2-12-3

印刷：旭印刷株式会社



第16回 熊本県町村議会広報コンクール入賞

- 令和4年度補正予算審議
- 議員研修報告 三重県視察
- 一般質問5人が登壇

QRコード導入しました。



津奈木町議会
ホームページはこちら。



広報コンクールで入賞した
議会広報誌はこちら。
(令和4年5月号)

夢つなぎ人

第15回

仲間と一緒に、生涯現役

大切なのは「楽しむこと・続けること」

J Aあしきた女性部

津奈木支部 役員の方皆さん



笑顔でポーズ

上段左から 山口祥子さん、高橋久美子さん、林田伊津子さん
下段左から 新立サダ子さん、福島育子さん、園木孝子さん

地域になくはならない女性部を合言葉に、ふれあいの店の運営、社協・民生委員と連携して30年以上続く給食サービスなどの活動を行っています。また近年では令和2年7月豪雨災害時、全国から届いた支援品の配布、新型コロナでは、手作りマスクを、学校や福祉施設へ寄贈しました。

みんなの力で地域貢献賞を受賞

これらの活動を受け、昨年熊本県農業コンクール大会にて、地域貢献賞を受賞することができました。私たちは、取り立て珍しい活動をしているわけではありませんが、みんなで楽しみながら地道に取り組んできたことが、評価されたのだと思っています。

人口減少による地域の担い手不足で、食文化などの伝承が困難となつています。昨年11月に行われたふれあい祭りでは、エビめしを復活させ、皆さんに喜ばれたところです。これからも、165人の仲間とともに「生涯現役」地域を支え続けたいと思っています。

議会へつなぐ

給食サービスや加工品の製造、イベント時の餅作りなど、活動を存続するためには、四季彩前の「里の味加工場」のような施設が必要です。老朽化しているので、食の伝承館のような施設の検討をしていただきたいと思います。

編集後記

3年ぶりに開催された新春恒例の熊日三太郎駅伝競走大会は、若い中高生の活躍もあり、Aチームが単独2位でゴールしました。皆さま方の熱い声援に感謝いたします。

昨年からイベント毎も開催されるようになり、世の中がウイズコロナの中で動き出しています。

今年はずいぶんです。津奈木町並びに町民の皆さまの飛躍の1年になるようご祈念申し上げます。

また、4月には議会議員選挙が行われます。皆さん、投票に行きましょう。

(新立 啓介)

議会広報編集特別委員会

委員長	本山 真吾
副委員長	宮嶋 弘行
委員	澤井 静代
委員	新立 啓介
委員	大川 貴哉

定例会の
あらまし

令和4年第4回津奈木町議会定例会が、12月14日から16日まで3日間の会期日程で開催されました。本定例会は、令和4年度一般会計補正予算、宿泊交流施設の設置及び管理運営に関する条例の制定など、議案（追加を含む）17件が提出され、全て原案のとおり可決されました。

主な補正予算

- ふるさと納税推進事業..... 3,027万円
- つなぎ応援商品券事業..... 2,336万3千円
- 小災害復旧事業費補助金..... 452万9千円
- 避難所用スキルフリーマット購入費..... 369万6千円
- 旧平国小学校屋内改修工事..... 353万8千円
- 旧平国小学校外部改修工事..... 224万9千円
- 町道維持補修工事..... 211万5千円



問 旧平国小学校屋内改修工事及び外部改修工事で調査の結果、アスベストが確認され、その処分費用を含むとのことだが、その費用と内容は。また、大気汚染防止法により1戸建ての建物も作業基準の順守義務等が適用されるとあるので、住民への周知にも努めていただきたい。

答 【政策企画課長】 屋内改修工事は、アスベストが検出されたことで、養生費や処分費として90万円を増額、外部改修工事は調査や処分費として約40万円を増額している。



辻地区で新規就農した濱村輝さん

問 農業経営発展支援事業補助金及び農業経営開始資金補助金について説明を求める。また、農業次世代投資資金の減額はなぜか。

答 【農林水産課長】 農業経営発展支援事業補助金は新規就農者育成総合対策として事業創設され、就農時49歳以下の新規就農者が対象者で、機械や施設、家畜導入等の補助を行う。補助対象事業費上限500万円、補助率は国1/2・県1/4となる。農業経営開始資金補助金は、資金面での補助で、1人最高で年150万円、最長3年間を助成する。農業次世代人材投資資金は当初予算では6人分を確保していたが、今回4人の確定となったためである。

令和4年度一般会計（第4号）
補正予算 歳入歳出1億3,430万円を追加
総額46億8,010万円とするものです。



500円×10枚綴り

問 つなぎ応援商品券事業について、物価高騰対策支援として、6月補正予算に続いて町民一人当たり5,000円の商品券事業は大変ありがたいが、1万円程度の交付はできなかったのか。今後検討される余地はないのか。

答 【町長】 財源が伴うので、バランスをみながら検討していきたい。



陸上クラブが購入したソフトドリルハードル（その他剣道部・野球部・バスケットボール部などの用具を購入予定）

問 つなぎっ子クラブ備品購入費39万8千円について、ライフスポーツ財団からの補助金の経緯は。

答 【教育課長】 公益財団法人ライフスポーツ財団が実施する子ども活動支援補助に応募し、この補助金を各クラブの用具購入予算として計上した。備品購入費に併せて、総合運動公園園物置設置工事67万5千円も同補助金の活用を予定している。

宿泊交流施設の設置及び管理運営に関する条例の制定

条例の概要

旧赤崎小プールの跡地利活用として整備された「入魂の宿」の運営等に関する条例として新規制定。本施設は、宿泊施設を有した集いの場を提供し、観光振興及び交流促進により町の活性化に資するとともに、本町の美術の振興を図り、芸術文化の発展に寄与するため、宿泊交流施設として設置されます。



問 「入魂の宿」の宿泊料金は1泊4万円との説明を受けていたが、今回1棟1泊2万円となっている。

変更の経緯と、今後建物の補修等の課題が懸念されるが、撤去を含めた契約はできているのか。

答 宿泊施設が2棟あり、当初は全棟貸しで1泊4万円として計画をしていた。しかし、一人で宿泊する場合負担が大きくなる。お風呂も食事もない、素泊まりであることを加味して、2棟を分けて貸し出すことにした。

財産としては町の財産であり常設となるため、今後の維持管理を含め、今回条例を提出している。アート作品でもあり作家の意向に沿うよう、長く運用し、活用していきたい。

総務振興常任委員長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、令和2年7月豪雨災害の復旧工事も6割ほど完了してきました。まだ未着手のところはありますが、一日も早い復旧・復興を願っています。

また、復旧に携わる関係各位の皆様には健康に留意して頂き、工事が無事に終わることを祈っております。

近年、鳥獣による被害が深刻になり、特にイノシシが随分と増えてきているように思われます。

総務振興常任委員会においては、耕作放棄地の解消と鳥獣害に強い作物の推進をメインに、
①町振興計画②農林水産業の所得向上の方策③令和2年7月豪雨災害の復旧復興④新型コロナウイルス感染症に関する対策の4件を柱に調査を行っていきます。

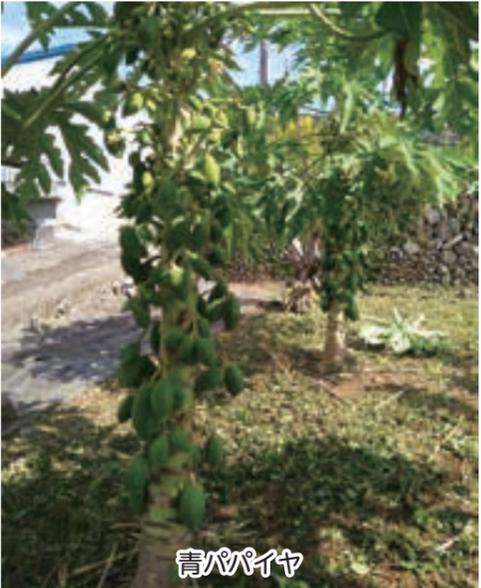
最後に、この新しい年が皆様にとってより佳き年になりますよう心より祈念し、ご挨拶申し上げます。

総務振興常任委員長 久村 昌 司

令和4年津奈木町議会 総務振興常任委員会開催状況 令和4年12月28日現在

開催日	議題名	結果	対応
第1回 1月19日	・令和4年の委員会所管の取り組み	・災害復旧の検証 ・耕作放棄地対策 ・各種団体との意見交換を主として取り組む	継続
第2回 2月16日	・豪雨災害及び振興事業 ・耕作放棄地対策 ・地域おこし協力隊の活動状況 等	・各担当課からヒアリングを実施	継続
第3回 4月20日	・各種団体との意見交換	・JA女性部との意見交換	継続
第4回 5月10日	・各種団体との意見交換	・農業委員会との意見交	継続
第5回 5月27日	・各種団体との意見交換会の検証	・JA女性部との意見交換会の検証 ・農業委員会との意見交換会の検証	継続
第6回 6月22日	・令和2年7月豪雨災害の復興状況(現地視察)	・町内被災個所の現地視察 ・現地にて説明及び質疑(担当課長対応)	継続
第7回 7月20日	・令和2年7月豪雨災害の復旧状況(委員会検証)	・現地視察後の議会対応 ・未施工、未着工箇所の把握及び促進等	継続
第8回 8月17日	・令和2年7月豪雨災害における小規模災害の現状 ・地域振興公社の現状	・担当課ヒアリングを実施し、要望等を伝達 ・小規模災害の被災者対応等 ・振興公社の現状及び今後の方針	継続
第9回 10月19日	・美術館の今後の方向性 ・町職員の人事管理	・設立20年を迎え、今後の在り方の検証 ・人事管理における職員再編等	継続
第10回 12月14日	・耕作放棄地対策等における農業振興	・担当課より説明を受け、審議(青パパイヤ 他)	継続

青パパイヤ実証栽培の取り組み



町では本年度から、耕作放棄地対策、鳥獣被害防止対策並びに高齢者の生きがい対策を目的に青パパイヤ研究会を立ち上げ実証栽培を開始した。

議会としても、全議員が研究会に参加するとともに、耕作放棄地対策などに有効と考え先進地である、まこと農園(玉名市)、大隅鹿屋パパイヤ研究会(鹿屋市)、ゲストハウスイロンゴ(津市)、寺田農園(四日市市)等の視察を行いながら取り組みを行ってきた。

○本年度実証栽培の考察

- ・栽培地としては、排水が良い畑・果樹園が良いが水田でも高畝にすることで栽培可能。
- ・肥料は定植地の土壌が肥沃であればなくても生育するが追肥として6月以降、月に1~2度必要。
- ・灌水は苗が大きくなる6月以降植栽地が乾燥しないよう適宜必要。
- ・農薬は害虫被害がないため基本的に必要なし。
- ・果実への有害鳥獣の被害はなかったが一部苗木の掘り起こしが見られた。

○まとめ

- ・本町に適した苗木(品種)の選定、果実の販路拡大、加工品製造など今後の課題も見えてきた。
- 今後、町の特産品として、どう育てていくのか、議会としても次年度以降の取り組みを推進していきたい。

令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興

令和2年7月豪雨災害から2年半が経過する中、町執行部は1日も早い復旧に努め、59%の完了を見ている。議会としても、定期的に検証を行い町民の安全安心と1日も早い復旧、並びに営農活動の早期再開ができるよう努めて来た。

○現状について

R5.1.6現在

	全体		発注済		竣工済		未発注		
	事業費(千円)	件数	件数	率(%)	件数	率(%)	工事費(千円)	件数	率(%)
道路	243,087	26	24	92.3	18	69.2	7,342	2	7.7
河川	456,244	33	26	78.8	11	33.3	90,191	7	21.2
農地・農道	263,268	41	33	80.5	23	56.1	33,089	8	19.5
林道	33,096	15	15	100	15	100	0	0	0
漁港	4,977	2	2	100	2	100	0	0	0
全体	1,000,672	117	100	85.5	69	59.0	130,622	17	14.5

教育住民常任委員長あいさつ

新年、あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、明るく健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染が収束しませんでした、3年ぶりに行動制限を伴わない生活を迎えることができ、今までの日常を取り戻す兆しが見えつつあるように思われます。

教育住民常任委員会では、昨年と同様コロナ禍の中、住民福祉を重点に置き、所管する各課とのヒアリングを中心に行い、また保育園の民営化・幼稚園の閉園に伴う問題点の調査、社会福祉協議会訪問看護（ヘルパー）事業の調査、学校についてはITCタブレットの活用状況や通学路の危険箇所の問題など、多岐にわたり調査をし、問題点を議論しました。

令和5年度は町立津奈木保育園の民営化、津奈木幼稚園の閉園などがあり、特に少子化の問題に力を入れ取り組んでいきたいと思っております。また、福祉の面においても、町民の皆様の暮らしが良くなるよう一層努力いたします。今年も宜しくお願いします。

教育住民常任委員長 上村 勝法

令和4年津奈木町議会 教育住民常任委員会開催状況 令和4年12月28日現在

開催日	議題名	結果	対応
第1回 1月20日	・幼稚園の現状と今後の展望	・担当課ヒアリングを実施 ・令和4年度末をもって閉園 ・閉園まで在園児童のケアを行うよう要請	継続
第2回 2月17日	・令和3年施政方針の検証	・令和3年に実施した委員会所管事業の検証 ・検証結果を踏まえ、本年の取り組みを決定	継続
第3回 4月21日	・保育園民営化に関する検討	・担当課ヒアリングを実施 ・令和5年度末民間移管までのスケジュール等の確認 ・移管までの間、園児のケアを行うよう要請	継続
第4回 5月19日	・各種団体との意見交換に係る協議	・各種団体との意見交換の方法等の協議 ・次回、社協及び民生委員のヒアリングを実施	継続
第5回 5月29日	・訪問介護（ヘルパー）事業の取り組み ・民生委員・児童委員の取り組み	・所管団体とのヒアリングを実施 ・ヘルパー及び民生員活動に関する一般質問	継続
第6回 6月24日	・学校タブレットの取り組み状況	・生徒の活用状況を視察（津奈木中） ・学校、担当課とのヒアリング	継続
第7回 7月21日	・町民体育祭の現状と今後の展望	・担当課ヒアリングを実施	継続
第8回 8月18日	・委員会視察研修の検討	・委員会視察の目的、行先等を検討	継続
第9回 10月20日	・生徒児童の通学路危険箇所	・担当課提供の資料をもとに、協議 ・指定危険箇所の現地確認	継続
第10回 12月14日	・幼稚園閉園後の利活用	・幼稚園閉園後の利活用について、協議 ・次回委員会で、担当課ヒアリングを実施	継続

幼稚園閉園後はどうするのか

今年度末で閉園する津奈木幼稚園の施設活用について、12月の本委員会で議論した。

少子化により子どもたちを取り巻く問題は深刻で、保育園の民営化もあり、津奈木町にとっては試練の時と言わざるを得ない。

幼稚園は、去年エアコンを修理し、また、12月定例会では白蟻駆除の補正予算が計上されており、閉園後すぐに解体するには惜しく、施設の有効活用ができないか委員会で話し合いがなされた。



幼稚園を視察する委員

委員会で議論された案

○高齢者総合福祉施設の開設

憩いの場やトレーニング場として、体力・健康の維持向上を目的にした施設を設置

○陶芸教室の移設

陶芸教室が活動している幼稚園横の現施設は、老朽化して利用が困難のため移設

○社会福祉協議会の移動

機密性を高めるために必要な相談室などを、新たに設置した事務所を設置

※その他多数の提案がなされた。

これからも多くの意見を参考に協議していきたい。

○グラウンドゴルフ場の休憩所

隣接する広場でグラウンドゴルフを行う町民のため、お茶や軽食が取れる休憩所として整備



閉園する幼稚園

農家民宿で地域活性化に貢献

三重県津市白山町 ゲストハウス イロンゴ



イロンゴの
詳しい情報はこちら

尊敬する祖父の家で民宿経営

令和4年11月17日に、講師を務めていただいた倉田麻里さんは、大学院卒業後、NPO法人イカオ・アコのスタッフとして、フィリピンのネグロス島に9年間住んだ後、尊敬する祖父の残した農地と古民家を活用するため、故郷の三重県に帰り、農業・狩猟・地域活性化に取り組んでいます。

農業経営は、青パパイヤオーナー制度を実施、年に数回のイベントを行いながら、ゲストハウス・日帰り農業体験・フィリピン料理体験、有機栽培を中心に農作物も販売しています。

多文化共生をテーマに、田舎で国際交流ができる場所づくりをしながら、地域の人々や移住者を巻き込んで、地域活性化と農業経営を両立されていました。



ゲストハウス イロンゴ
ハウスマスター 倉田麻里さん

青パパイヤをオーナー制度に

まだ知名度が低い青パパイヤをSNSで紹介。

田舎暮らしや東南アジアの文化に興味のある人などにオーナーになってもらい、青パパイヤを使った料理体験を実施したり、他の農産物を抱き合わせて販売したりして、農家民宿の経営に繋げていました。

宿泊施設は実家をリフォーム

国の制度を利用し低コストで魅力のあるゲストハウスへ

農林水産省では、農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」の推進に力を入れています。

この制度は、要件を満たせば活用でき、簡易宿泊所の営業許可を得るための規制が緩和されるため、開業時の改装手続き費用は10万円程度でできたそうです。



実家だった古民家を宿泊施設に活用



青パパイヤオーナー制度の説明を受ける議員団

体験・出合いを提供する

三重県の伊勢神宮や多くの観光スポットからは片道1時間ほど離れているため、決して恵まれた立地ではない。それでも開業した2019年には、300人を超える人が泊まってくれたそうです。

ゲストハウスを訪れるお客様は、「どこに行けるか、何が買えるのか」ではなく、「誰と出会えるのか、どんな体験ができるのか」を重視しており、田舎ならではの狩猟体験や焚き火を囲んでの家族ぐるみでの交流がリピートを招いているとのことでした。



日本建築の部屋は外国人旅行者にも好評



寺田農園

青パパイヤ

夫婦で二人三脚

三重県四日市市 寺田農園



寺田農園の
詳しい情報はこちら

退職後、農業参入

11月18日に、対応していただいた寺田農園代表 寺田俊治氏は脱サラし58歳で農業を始められました。

四日市市農業センターで農業研修を受講。以降、情報収集の為に同センターを訪問した際、研修生が育てていた青パパイヤに注目。会社員時代に東南アジア出張時良く食べていた青パパイヤが、日本でも栽培できることを知りました。栽培方法や栄養価などを詳細に調べ栽培を決断し、現在青パパイヤを20aの他、黄桃（ひめこなつ）なども栽培され、調理師の資格を持つ奥さんと食品加工にも力を入られています。



講師をしていただいた
寺田農園 寺田俊治さん夫妻

地元スーパーと連携

青パパイヤは栄養価がとても高く、特にポリフェノールの含有量が天然・自然食品ではNo.1ですが、日本での知名度はまだ知られていません。

幸い四日市市は人口が31万人、周辺に鈴鹿市19万人、桑名市14万人があり、イオンなどのスーパーが沢山あります。スーパーのバイヤーと商談しながら、規格や売価を決め販売しています。また、調理方法などのレシピをネット上で公開することで、広く認知してもらうように努力しています。

SNSやインターネットによる個人向け販売にも力を入れています。

加工食品を開発、6次化で収益アップ

一本の苗から約30キロほどの青パパイヤの実がなりますが、スーパーなどの規格に合わない果実がどうしても出てきます。規格外になった果実を、加工食品としてさらに付加価値をつけることで、ロスを減らしながら経営の安定化を図っています。



青パパイヤ料理



お茶などの加工食品



議員研修 令和4年11月17~19日 三重県

……… 津奈木町にどう活かすか ……

今回実施した三重県での研修は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、行政視察ではなく、一次産業振興を主に実施した。現地を訪ねることで、農業と観光、また青パパイヤ等の6次化など大変参考になった。

特にゲストハウスイロンゴの農林漁体験民宿登録制度を利用した「農泊」は、津奈木町でも活用できる宿泊施設であると思った。

今回視察で学んだことを町民の皆さんにお伝えし、津奈木町のさらなる発展につなげていきたい。



魅力アップの観光振興を

宮嶋 弘行 議員

新たな遊び心が話題に

問 「トゥクトゥク」といった乗り物を、2か月間レンタルしたが、利用実績はどうだったのか伺いたい。

答 【政策企画課長】 「トゥクトゥク」のレンタル実証事業は、3人乗りの電動三輪車を貸し出すもので、町を周遊する仕組みと二次交通における環境負荷低減を講じるための需要と課題を抽出するために実施した。利用実績は43日間で、33組の70人（町内9組21人、町外24組49人）だった。



開放感あるトゥクトゥク

問 3人乗りのため、コンパクトで非常に開放感があり乗り降りもスムーズにでき、町への滞在時間が増し、観光振興策としての話題性も必要ではないかと思われる。

電動モビリティのため、環境にもやさしく燃費も軽減される乗り物で、導入の考えはないのか伺いたい。また、年間を通しての、観光案内マップの作成が必要と思うが作成しないのか伺いたい。

答 【政策企画課長】 本格導入についての予定はない。多くの小型モビリティの開発が進んでおり、各自治体も取り組んでいるので、今後の選択肢の一つとして考えている。

観光マップについては、それぞれの分野で紙媒体としてあるが、新しい情報が反映されていないため、

更新していきたい。紙媒体以外ではスマホ上で利用できる観光ガイドなど、デジタル媒体も併せて検討したい。

30回記念の「ふれあい祭り」大盛況に

問 今回、30回記念として、ふれあい祭りが3年ぶりに行われたが、2日間の集客状況はどうだったのか。

答 【政策企画課長】 集客人数は把握していないが、ピーク時は約450台の駐車場が満車となり、周辺の駐車場も併せて徒歩や自転車等での来場者もあり、1,000人以上に来場いただいたと推測される。

町内配布の抽選券は、469枚が利用された。展示部門に関しては、B&G体育館を利用したことにより、延べ1,223人の来場があり、前回の2.7倍だった。

新企画として、モルック大会は96チーム296人、津奈木レール&フットパスに30チーム60人が参加した。コロナ禍で3年ぶりであり、町民の期待もあったものと思われる。

問 今回、企画立案が功を奏したと考えられるが、良かった点と反省すべき点を踏まえ、来年度予算についての考えを伺いたい。

答 【町長】 今回は、子どもから大人まで楽しめるイベントとして盛り上がった。但し、受け入れる側でスタッフ等の拡充が今後の課題になることが、懸念される。来年度予算に関しては、通常予算に戻すが、良い点と悪い点を反省し、知恵を絞りながら、最大の効果ができるようなイベントになればと期待している。

四季彩の福祉設備の充実はどうするのか

本山 真吾 議員



四季彩の福祉面はどう考えているのか

問 つなぎ温泉四季彩のフロントから浴場までの通路の坂道は、心臓に疾患のある方や、高齢者などに負担が大きいと聞く。電動車いすの導入はできないのか。

答 【政策企画課長】 現在、車いすの利用は、月に10組から15組ほどが利用しているが、多くは介助者が同伴されている。電動車いすの導入については、利用者への機器の操作説明が必要となり、通路が狭いので安全性を十分に確保できるか不安であると言うような声もあるので、現段階では現場のスタッフサービスを充実させることがより良い対応でないかと考えている。

問 2階への階段についても、エレベーターや階段昇降機等の設置を要望してきた経緯があるが、現段階ではどのように考えているのか。

答 【政策企画課長】 現在つなぎ温泉四季彩周辺魅力アップ事業の基本計画、基本設計の策定業務に取り組んでいる。館内に宿泊施設を整備すべく検討を進めており、必要性を判断し、お年寄りや障害をお持ちの方への対応も検討していく。

問 今後の展開として、四季彩に宿泊施設を検討するとの事だが、地元住民の福祉面について、どのような計画を持っているのか。

答 【町長】 設計面では、バリアフリー等を考慮しながら設計をしている。今後、宿泊施設等を導入するにあたって、ユニバーサルデザインで建物を設計することで、福祉面での必要も出てくると思う。いろいろ検討しながらやっていきたい。

猟友会員の負担軽減を

問 農作物の被害が多くなっているが、捕獲をする猟友会員の負担がかなり大きい。報酬金額をあげることはできないか。

答 【農林水産課長】 令和4年4月1日現在会員数は17名で捕獲へ従事してもらっているが、捕獲実績は本年10月31日現在で、昨年約1.6倍となっている。有害鳥獣については、全国的な問題であり、国や県との連携を図りながら、狩猟者の確保やICT等の活用による負担軽減等にも努めていくことが必要であると考えている。

答 【町長】 報酬額については、他市町村の状況を見ながら検討していきたい。

問 捕獲後の廃棄処分について、たい肥処理施設もしくは処分場の確保等はできないのか。

答 【農林水産課長】 施設の整備については、運営や維持管理の問題もあり、単独での整備等は困難である。そのため、先進地事例等の情報収集を行いながら国・県との連携を図り、広域的な処理方法など、対応を検討したい。

問 2019年の間のデータによると、芦北振興局内に生息する鹿は1万1,000頭以上になった。早急にゴミ集積所のようなところで、仮置き場ないしは埋葬する場所を設ける事はできないのか。

答 【町長】 ごみ処理場での埋葬等の処理は、法に触れることから、困難と思われる。



イノシシ・鹿による食害にあったミカンの木



児童生徒の通学時の安全確保

新立 啓介 議員

丸岡地区の通学路を変更

問 丸岡地区、町原地区の児童生徒の通学路について、学校と保護者間の協議を行い歩道整備を検討することになっていたが、協議結果はどうなったのか。

答 【教育課長】 現在、通学路の変更がされていないので、学校に確認したところ保護者との協議は行われていないと聞いている。

問 今後の丸岡地区、町原地区の児童生徒の通学路整備はどのように考えているのか。

答 【教育課長】 保護者からは、現在の通学路の歩道を広げ、グラウンド付近に横断歩道を設置してもらいたいとの要望があるが、歩道を広げるには樋門部分に歩道橋の新設が伴い費用面で難しく、横断歩道新設も近距離で3か所になるため、警察署からも好ましくないとの意見があっている。

通学路安全推進協議会では、通学路の変更で対処していくこととして、協議している。

問 歩道設置について、町長の考えを伺いたい。

答 【町長】 教育委員会として、警察協議等を踏まえ通学路を変更するような答弁ですので歩道設置するにしても警察協議が必要で厳しい面がある。児童生徒の安全確保が大事と思うのでご理解をいただきたい。

人は右側、自転車は左側通行

問 小中学生の交通安全教育について、小学生の登校時は登校班で上級生が指導をして整列して通学しているが、下校時は道路中央などに広がって歩いている姿を見かけるが学校での安全指導、安全教育はどのように行われているのか。

答 【教育長】 学校には、学校安全計画というのがあり、学級活動の時間に資料や動画を使って危険予測学習を校外に出る際や長期休業に入る前は必ず交通安全指導を行い、年一度は外部講師を招いて交通安全教室をやっている。年間を通して、見守り隊の方々や職員が出向いての指導も行っている。中学校は内容をさらに発展、発達段階に合わせて指導している。

問 自転車通学でも同じような光景を見かける。平成27年6月の改正道路交通法により違反行為等厳罰化されているが学校での指導はどのように行われているか。

答 【教育長】 自転車通学を行っている生徒には、ヘルメットの着用を厳しく指導し、毎学期、事故を未然に防ぐために整備不良がないか安全点検を行う際等に交通安全担当から正しい乗り方等の指導を行っている。改正道路交通法の自転車安全利用五則はもちろん、危険行為14項目についても適宜指導されている。



写真はイメージです

通学路に公衆トイレは作れないのか

大川 貴哉 議員

津奈木小学校の草刈り負担軽減を

問 津奈木小学校の校庭は広大で、草刈り作業は先生方や保護者の負担になっている。年々保護者が少なくなっている中に、負担軽減のためにハンマーナイフモアを購入して、小学校に常備できないか。

答 【教育課長】 校庭は広大で除草作業に苦慮している。保護者の草刈り作業ではなかなか追いついていないのが現状だ。しかし、ハンマーナイフモアを常備すると、メンテナンス等が必要になり、教員不足も相まって負担になりかねない。

現在、役場に1台常備してあるので、これを借りながら、保護者が持参した機械と合わせて、効率良く除草作業に努めたい。

通学路にトイレが欲しい

問 町では文化センターやB & Gグラウンド等のトイレを新しくしている。そんな中、遠くから登下校する生徒にトイレに困っている子がいる。安心して用を足せる公衆トイレを通学路の途中に設置できないか。

答 【教育長】 通学路に公衆トイレがあれば、安心して用が足せる環境になると思うが、児童たちだけではなく、一般の利用者にとっても安心安全な施設でなければならず、防犯上の観点からも難しい。

教育委員会としては、通学途中でトイレに困らないように、健康生活の習慣化、児童の発達段階に合わせた指導を学校や保護者にお願いしたい。

西回り自動車道の騒音対策は

問 西回り自動車道で騒音が出ている。内野地区では、騒音検査等行ってもらっているが、その後、近隣住民への説明が無く、今後のスケジュールも分からない。現状はどうなっているのか。

答 【建設課長】 平成28年2月に津奈木インターが開通して1ヶ月後、1回目の調査を行った。その際、測定値が環境基準内であり、対策ができないと報告している。また、平成29年12月に橋の隙間を改良した事を、平成31年3月に前区長さん達に説明をしたが、再度調査をして欲しいとの要望を受け、令和元年11月に2回目の調査を行っている。前区長さんにその結果を説明した。その際に、地域住民にも説明して欲しいと要望されている。

しかし新型コロナウイルスが原因で報告会開催が困難となっている。感染症の状況を踏まえ、地区で調整をしてもらい、可能であれば国交省からの説明をお願いしたい。

問 近隣住民の方々は、津奈木インター開通時から騒音に悩まされている。町から国に解決を働きかけてもらえないか。

答 【建設課長】 道路を管理する国交省からは、騒音の測定値が環境基準値を現状で満たしているため、防音壁等の対策は困難であるとの回答を受けているが、町としては、今回の要望を受け、引き続き国交省へ働きかけていきたい。



町管理施設の樹木 安全な管理を

澤井 静代 議員

樹木の管理体制は

問 町が管理する公園や公共施設の敷地内、町道等に多くの種類の樹木が植樹をされているが、管理体制はどうなっているのか。

答 【総務課長】 樹木管理は、普通財産は総務課、行政財産内は所管する担当課であり、管理体制は、それぞれの担当課で行っている。

問 木の性質や特性、または植樹場所等によって伐採も必要な樹木もあると思うが、計画はあるのか。

答 【総務課長】 役場周辺や公園等は、管理委託をしている樹木に詳しい業者と打ち合わせを行い、計画的に管理を行っている。また、町道等は、地元の要望や職員及び有償ボランティアの除草作業員の見回りで、通行に支障を来す雑木等の伐採を行っている。教育課所管は、目視によって判断をし、危険な木などの伐採を行っている。

町有施設の樹木の伐採や剪定は、必要に応じて予算措置を行い、支障があるときは早期に対応する。

カーブミラー設置を

問 役場周辺の通学路の安全対策で、役場を車で出るとき庭石で子どもに気付きにくいことがあるが、カーブミラーの設置ができないか。

答 【建設課長】 役場から車を出る手段として、役場正面駐車場および改善センターの駐車場から出る2パターンがある。

指摘のとおり、庭石で子ども等々の歩行者に気づ

きにくいことはあると思う。役場出口を利用される車両は、車、バイク、自転車などがあるので、役場出口の安全対策は、総合的に判断して検討していきたい。

つなぎ美術館事業

問 つなぎ美術館の秋の企画展「光と陰のアンソロジー この世界にただ独り立つ」を終えて、入館者数と来館者の声として、どのような結果であったのか。

答 【政策企画課長】 秋の企画展の観覧者数は705人で、74人の方にアンケートの回答をいただいた。「大変満足した」「満足した」の回答者を合わせると85%になる。グループ展としては、高い評価を得られたと考えている。

感想も、「先駆的で津奈木町らしさが出ていた」「調和やバランスの取れたグループ展だった」などの好意的な声が寄せられ、懸念した批判的な声はなかった。

問 入魂の宿は、予定していた令和4年11月秋頃からの運用開始に至らなかったが、理由と現状は。

答 【政策企画課長】 つなぎ美術館開館20周年記念事業に併せ、令和3年9月の作品公開としていた。これが、作家の大病、新型コロナウイルスの感染拡大、ウッドショック等の様々な問題が重なり、繰越を余儀なくされた。

令和5年1月中旬頃からモニター宿泊期間を設け、植物が芽吹く3月下旬頃からの一般宿泊開始を予定している。



真野将孝氏を人権擁護委員として推薦

人権擁護委員として活動いただいている真野将孝氏（丸岡地区）が、令和5年3月31日に任期満了を迎えるにあたり、同氏を引き続き委員として推薦する議案が執行部から提出され、全会一致で議決しました。



広報コンクール賞状

「つなぎ議会だより」広報コンクールで入選

令和4年11月24日(木)益城町グランメッセで開催された、第16回熊本県町村議会広報コンクールにおいて、つなぎ議会だよりが入選しました。見やすいレイアウト、議会改革の取り組み等が高評価を受け、受賞に至りました。

結果：特選 大津町議会 入選 あさぎり町議会・津奈木町議会

特別賞 小国町議会・苓北町議会

議会のうごき

【12月】

- 7日 議会運営委員会
- 14日～16日 第4回議会定例会
- 27日 議会広報編集特別委員会

【1月】

- 6日、10日、13日、17日、20日、24日 議会広報編集特別委員会
- 18日 総務振興常任委員会
- 19日 教育住民常任委員会

【2月予定】

- 9日 議会全員協議会
- 15日 熊本県後期高齢者医療広域連合定例会及び全員協議会
- 総務振興常任委員会
- 16日 教育住民常任委員会
- 22日 県議長会定期総会・研修会
- 下旬 議会運営委員会

【3月予定】

- 上旬 第1回議会定例会



全員協議会



総務振興常任委員会



教育住民常任委員会